

## 会報

## 日本食品化学学会 2019 年度 総会 議事録

日 時: 2019 年 6 月 6 日 (木) 13:30 ~ 14:15

場 所: キッセイ文化ホール (長野県松本市水汲 69-2)

## 議題 1. 2018 年度事業報告の決定

以下の事業報告案が提出され、原案通り承認されました。

## (1) 第 24 回総会・学術大会の記録

学 会 長: 中江 大 (東京農業大学応用生物科学部 教授)

日 時: 2018 年 5 月 17 日 (木) ~ 5 月 18 日 (金)

場 所: 東京ビックサイト (東京都江東区有明 3-11-1)

学会長講演: 「生活習慣病とがん: 食事組成の変化による動物モデル」

中江 大 (東京農業大学応用生物科学部 教授)

特別講演 (1): 「食品のリスク評価と食品安全委員会」

吉田易範 (内閣府食品安全委員会事務局評価第一課長)

特別講演 (2): 「Glucose-releasing Rate (GR): an in vitro method designed to predict glycemic index values of foods and meals」

佐々木一 (神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科 教授)

特別講演 (3): 「食品安全行政の現状と課題」

関野秀人 (厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課長)

特別講演 (4): 「森林資源の有効利用~キノコの機能性と人工栽培を通して~」

江口文陽 (東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授)

奨励賞受賞者講演:

「二枚貝をはじめとした各種食品中呈味成分の食品化学的研究」

齊藤 (北岡) 千佳 (麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科 助教)

「薬用植物を基原とする健康食品の品質評価に関する研究」

政田さやか (国立医薬品食品衛生研究所生薬部 主任研究官)

一般発表: (口頭) 16 題、(ポスター) 39 題

参加者数: 258 名

(内訳: 会員 126 名、非会員 73 名、学生 19 名、来賓 13 名、スタッフ等 27 名)

関連行事: ① 評議員会

② 若手優秀発表賞

・口頭発表部門

A-3 「Single Reference HPLC 法によるセサモール、セサミン、エピセサミン、セサモリンの一斉分析法の検討」

高橋 未来 (立命館大学大学院薬学研究科)

A-6 「高水溶性非晶質クルクミンの開発と水溶性向上機序の解析」

長野 一也 (大阪大学大学院薬学研究科)

・ポスター発表

B-1 「シクロデキストリンの添加がクルクミン/ポリビニルピロリドン複合体の安定性に与える影響」

君波 奈緒 (大阪薬科大学製剤設計学研究室)

B-9 「フェルラ酸ルチノシドの BDNF 産生促進作用と Caco-2 細胞透過性」

松本 果楠子 (信州大学大学院総合理工学研究科農学専攻)

B-21 「 $\alpha$ -リノレン酸ジアシルグリセロール油の安全性に関する検討」

武士田 寛人 (花王株式会社安全性科学研究所)

③ 交流会 (5 月 17 日 18:00 ~、参加者数 94 名)

④ ランチョンセミナー 2 件

⑤ 企業展示 12 件

参加費： 学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円  
交流会 事前申込 6,000 円、当日申込 8,000 円、学生 2,000 円

### (2) ifa JAPAN 2018 食の安全・科学フォーラム 第 17 回セミナー & 国際シンポジウムの記録

テーマ： 東京オリンピック・パラリンピックに向けた食品のトータルな安全管理  
Mission of Food Safety for TOKYO 2020

主催： 日本食品化学学会、日本食品微生物学会、日本食品衛生学会

共催： JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社

日時： 2018 年 5 月 16 日 (水) 10 時 00 分～16 時 50 分 (受付開始 9:30 分)

場所： 東京ビッグサイト 会議棟 6 階 605・606

演題及び講師：

第一部 フードテロ対策の国際動向

「米国食品安全強化法 (FSMA) に対応した食品防御計画構築に向けた、脆弱性評価事例の紹介」

江藤 諒 (NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会)

「我が国の食品防御の取組」

山野 淳一 (農林水産省 消費・安全局)

「ロンドン 2012 での食品安全について」

ジェニー・モリス (英国食品基準庁)

第二部 オリンピック・パラリンピックを見据えた現場の食品安全対策

「HACCP 制度化の動向と日本食品衛生協会の取組」

桑崎 俊昭 (公益社団法人 日本食品衛生協会)

「小売業における食品安全対策について」

岸 克樹 (イオンリテール株式会社)

「マルハニチログループのフードディフェンスの取り組み」

中原 千秋 (マルハニチロ株式会社)

「食中毒事例での発生要因解析から見える食中毒防止対策」

工藤 由起子 (国立医薬品食品衛生研究所)

参加者： 98 名

参加費： 前売り一般全日 14,000 円、前売り一般半日 8,000 円、  
前売り会員全日 9,500 円、前売り会員半日 6,000 円、  
当日 18,000 円

### (3) 第 34 回食品化学シンポジウムの記録

担当理事： 井上 健夫 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)

テーマ： 食品行政をめぐる諸課題とその動向について

日時： 2018 年 11 月 1 日 (木) 13:15-17:00

場所： 日本薬学会会長井記念ホール (渋谷区渋谷 2-12-15)

講演 (1) 新規評価方法の食品安全への導入

(前) 内閣府食品安全委員会委員 山添 康

講演 (2) 「健康食品」の安全性確保の取組について

厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課 新開発食品保健対策室長 森田剛史

講演 (3) 食品添加物のリスク評価について

東京農業大学応用生物科学部食品安全健康科学科教授 中江 大

講演 (4) 器具・容器包装の PL 化について

国立医薬品食衛生研究所添加物部第三室長 六鹿元雄

講演 (5) 食品表示の現状と課題

消費者庁品表示企画課 赤崎暢彦

講演 (6) 農林水産物・食品の輸出について～現状と展望～

農林水産省食料産業局輸出促進課長 横島直彦

参加者数： 104名（会員58、非会員26、学生1、招待・報道8、主催者5、講演者6名）  
会費： 日本食品化学学会員 / 個人・法人会員 3,000円、非会員 5,000円、学生 無料

(4) 日本食品化学学会誌 第25巻の発行

第25巻1号の発行	発行日：2018年4月26日	発行部数：950部
論文5編	ノート3編	総頁数：88頁
第25巻2号の発行	発行日：2018年8月27日	発行部数：950部
論文4編	ノート3編	総頁数：78頁
第25巻3号の発行	発行日：2018年12月21日	発行部数：950部
論文7編	ノート1編	総頁数：80頁

(5) 理事会及び各種委員会の開催

理事会：2回（書面理事会1回）、評議員会：1回、編集委員会：1回

(6) 会員数

2018年12月31日現在：個人会員587名、法人会員65法人、名誉会員18名

## 議題 2. 2018 年度決算報告の決定

以下の決算報告書(案)が提出され、原案通り承認されました。

## 2018 年度決算報告書(案)

(2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日)

収 入			支 出		
	予算金額	決算金額		予算金額	決算金額
会費(個人)	1,887,000 円	1,701,000 円	学術雑誌発行費	3,300,000 円	3,678,808 円
会費(法人)	2,490,000 円	2,400,000 円	学術大会費	400,000 円	661,940 円
会費(賛助)	0 円	0 円	シンポジウム費	200,000 円	166,497 円
投稿料	600,000 円	746,000 円	表彰費	380,000 円	380,696 円
広告料	900,000 円	1,010,000 円	会議費	250,000 円	151,469 円
雑収入	150,000 円	245,395 円	ホームページ運営費	160,000 円	149,856 円
			旅費・交通費	500,000 円	322,000 円
			賃借料	0 円	0 円
			印刷費	90,000 円	116,014 円
			郵送費	500,000 円	446,868 円
			振替手数料	80,000 円	73,896 円
			事務費	200,000 円	114,435 円
			予備費	50,000 円	0 円
(収 入)	(6,027,000 円)	(6,102,395 円)	(支 出)	(6,110,000 円)	(6,262,479 円)
前期繰越金	3,903,018 円	3,903,018 円	次期繰越金	3,820,018 円	3,742,934 円
合 計	9,930,018 円	10,005,413 円	合 計	9,930,018 円	10,005,413 円

2019 年 2 月 7 日

事務局長 山崎 裕康



.....

### 会計監査報告

上記の決算書を承認するとともに、会則に従って適正に執行されたと認めます。

2019 年 2 月 27 日

監 事 井之上 浩



尾崎 麻子



### 議題 3. 2019 年度事業計画の決定

以下の事業計画案が提出され、原案通り承認されました。

#### (1) 第 25 回総会・学術大会の開催

学 会 長： 中村 宗一郎（信州大学 理事・副学長）

日 時： 2019 年 6 月 6 日（木）～ 6 月 7 日（金）

場 所： キッセイ文化ホール（長野県松本市水汲 69-2）

学会長講演：「食と健康」

中村 宗一郎（信州大学 理事・副学長）

招待講演①：「味噌中の短鎖ペプチドの構造と機能」

佐藤 健司（京都大学 農学研究科応用生物科学専攻 海洋生物生産学講座 教授）

招待講演②：「食品成分の腸管吸収動態」

松井 利郎（九州大学 農学研究院生命機能科学部門 食料化学工学講座 教授）

招待講演③：「運動+栄養摂取の相乗効果—その背景と効果のエビデンス—」

増木 静江（信州大学 先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門 教授）

特別講演：「食品安全行政の現状と課題（仮）」

吉田 易範（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長）

奨励賞受賞者講演：

一般発表： 口頭およびポスター（演題募集）

関連行事： ①若手優秀発表賞、②交流会（6/6、ホテルブエナビスタ）、  
③企業展示（募集中）、④ランチョンセミナー（2社）

参 加 費： 学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円

交流会 事前申込 7,000 円、当日申込 9,000 円、学生 3,000 円

#### (2) 第 35 回食品化学シンポジウムの開催

担当理事： 鰐淵理事

テ ー マ： キーワード案／酸化ストレス、食品表示など

日 時： 2019 年 11 月 8 日（金）

場 所： 日本薬学会会長井記念ホール（渋谷区渋谷 2-12-15）

定 員： 150 名程度

会 費： 会員 3,000 円、非会員 5,000 円（予定）

#### (3) ifa JAPAN 2019 食の安全・科学フォーラム 第 18 回セミナー & 国際シンポジウム

テ ー マ： 食品安全規格の国際整合性と野菜の衛生管理

Global Harmonization of Food safety & hygiene management of Vegetables

主 催： 日本食品化学学会、日本食品微生物学会、日本食品衛生学会

共 催： ILSI、JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社

日 時： 2019 年 5 月 22 日（水） 10 時 00 分～ 16 時 50 分（受付開始 9 時 30 分）

場 所： 東京ビッグサイト 青海展示会場内

定 員： 150 名

演題及び講師：

第一部 食品の安全管理の国際動向

「台湾の食品安全規制の現状について（仮）」

陳 俊栄（台北駐日経済文化代表処科学技術部部長・台北医科大学教授）

「対米・対 EU 輸出食肉認定制度について」

厚生労働省

「食品のリスク評価とその国際整合性」

川西 徹（食品安全委員会）

第二部 野菜の衛生管理

「野菜の汚染実態と食中毒の防止」

森 哲也（一般財団法人 東京顕微鏡院）

「洗浄・殺菌に係わる近年指定された食品添加物（仮）」

久保田 浩樹（国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部）

「野菜の洗浄・殺菌の最新技術と次亜塩素酸の効果的な使用方法」

福崎 智司 (三重大学 大学院生物資源学研究所教授)

「カット野菜の安全性と製造管理 (仮)」

宮下 隆 (キューピー株式会社)

(4) 日本食品化学学会誌 第26巻の発刊

第26巻1号 2019年 4月発刊予定  
 第26巻2号 2019年 8月発刊予定  
 第26巻3号 2019年 12月発刊予定

(5) 理事会および各種委員会の開催

理事会: 1回、評議員会: 1回、編集委員会: 1回

議題 4. 2019年度収支予算の決定

以下の収支予算案が提出され、原案通り承認されました。

(2019年1月1日～2019年12月31日)

収 入			支 出		
項目	単価	予算金額	項目	数	予算金額
個人会員 (584名)	¥3,000	¥1,752,000	学術雑誌発行費	3	¥3,500,000
個人会員 (滞納分)	¥3,000	¥213,000	学術大会費	1	¥400,000
法人会員 (65社 81口)	¥30,000	¥2,430,000	シンポジウム費	1	¥200,000
法人会員 (滞納分)	¥30,000	¥30,000	表彰費		¥380,000
賛助会員 (0社)	¥30,000	¥0	会議費		¥250,000
投稿料		¥740,000	ホームページ費		¥160,000
広告料		¥1,000,000	旅費・交通費		¥400,000
雑収入		¥230,000	印刷費		¥120,000
			郵送費		¥450,000
			振替手数料		¥80,000
			事務費		¥200,000
			予備費		¥30,000
(収入)		¥6,395,000	(支出)		¥6,170,000
前期繰越		¥3,742,934	次期繰越金		¥3,967,934
合計		¥10,137,934	合計		¥10,137,934

議題 5. 次次期 (2021年、第27回) 学会長の選出

理事会より小川久美子氏 (国立医薬品食品衛生研究所病理部長) が推薦され、承認されました。

## 議題 6. 次期理事・監事候補について

理事会より以下の候補者が推薦され、承認されました。

(任期：2020年1月1日～2021年12月31日)

	役職	氏名	役割分担	所属・役職
1	理事長	小関 良宏		東京農工大学工学部生命工学科 教授
2	副理事長	合田 幸広	編集委員長	国立医薬品食品衛生研究所 副所長
3	副理事長	辻村 英雄		サントリー食品インターナショナル株式会社 取締役副社長
4	理事	穂山 浩	副編集委員長	国立医薬品食品衛生研究所 食品部長
5	理事	井之上 浩一	事務局長	立命館大学薬学部 准教授
6	理事	井上 健夫		三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役常務執行役員
7	理事	小川 久美子	2021年度 学会長	国立医薬品食品衛生研究所 病理部長
8	理事	奥村 克純		三重大学大学院生物資源学研究科 教授
9	理事	日下部 哲也	2020年度 シンポジウム担当	大阪市立大学大学院医学研究科 医薬品・食品効能評価学 教授
10	理事	佐藤 恭子		国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部長
11	理事	中江 大		東京農業大学応用生物科学部 教授
12	理事	松浦 寿喜		武庫川女子大学生活環境学部 教授
13	理事	矢野 竹男		三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授
14	理事	良永 裕子		麻布大学 生命・環境科学部 教授
15	理事	鰐淵 英機		大阪市立大学大学院医学研究科 教授
1	監事	伊藤 美千穂		京都大学大学院 薬学研究科 准教授
2	監事	尾崎 麻子		大阪健康安全基盤研究所 衛生化学部 主幹研究員

## その他

### ● 次期学会長挨拶

次期学会長の金谷重彦氏（奈良先端科学技術大学院大学）よりご挨拶がありました。

### ● 奨励賞および論文賞授与式

理事長より奨励賞、論文賞および広告主論文賞が受賞者に授与されました。

#### 第21回奨励賞

- 田村 倫子（東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科）  
研究課題：トランスクリプトーム解析を利用した、食材の機能性と品質に関わる遺伝子群の探索
- 増本 直子（国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部）  
研究課題：健康食品及びその素材の品質確保に関する研究

#### 第14回論文賞

- Effect of sodium carboxymethyl cellulose in processed rice foods on detection of genetically modified rice-derived DNA  
Kiyoko Nakanishi, Uki Fujii, Kosuke Nakamura, Takashi Ohtsuki, Shinya Kimata, Keisuke Soga, Masahiro Kishine, Junichi Mano, Reona Takabatake, Kazumi Kitta, Kiyomi Ohmori, Hiroshi Kawakami, Hiroshi Akiyama, Megumi Ikeda, Kazunari Kondo  
Vol.25(2),77-85(2018)
- Identifying the origin plant of starches by numerical description of the coloration of iodine-starch reaction solutions  
Tamaki Miyazaki, Yukio Aso, Yukihiko Goda  
Vol.25(3),145-151(2018)

#### 広告主論文賞<島津製作所>

- Inhibitory effect of black ginger (*Kaempferia parviflora*) constituents on nitric oxide production  
Hiroyuki Fuchino, Nanami Fukui, Osamu Iida, Hiroshi Wada, Nobuo Kawahara  
Vol.25(3),152-159(2018)

以上